



見せよう!!熊倉魂

日清カップでくまっこ大活躍!!

6月3日(土)、白河市総合運動公園陸上競技場において、「第39回全国小学生陸上競技交流会(日清カップ)福島県選考会県南地区予選会」が行われました。

本校からは、特設陸上部から32名の選手が「見せよう!!熊倉魂」を合い言葉に出場し、練習の成果を存分に発揮してそれぞれの種目で大活躍しました。

結果、5種目で1位・2位を含む入賞、10名が県大会出場権を勝ち取るという大変すばらしい成績を収め、「熊倉魂」を大いに見せてくれた1日となりました。

【県南地区予選会入賞者】

- 第1位 女子 800 m
- 第2位 男子 1000 m
- (800 m、1000 mはオープン競技のため県大会なし)
- 第6位 5年男子 100 m
- 第8位 6年男子 100 m
- 第8位 男女混合 4 × 100R 熊倉小学校



【入賞者以外の県大会出場者(13位まで)】

- 第10位 5年女子 100 m
- 第11位 コンバインドA (80mH、走高跳)



学校運営協議会コーナー

～学校運営協議会委員リレーコラム～

第1回は、学校運営協議会長

海老名 達雄 様 です。

ゆずり葉

小学校の南東の端でいつも子ども達の登下校の安全を見守っているゆずり葉。PTA在籍の頃あいさつ運動、ほめる運動、交流運動、を行動目的とし、子どもとともに育つ「ゆずり葉運動」が展開されました。子ども達が健やかに成長し、安心安全な学校生活が送れるようにと願い、先輩諸兄が展開していた姿を今では懐かしく思います。

ゆずり葉の花言葉は、世代交代、若返り、春になると新しい葉がつき、まるでその場を譲るように古い葉が一斉に落葉する常葉樹。詩人、河井醉茗(すいめい)の「ゆずり葉」という詩の一節に次のような文言があります。「世のお父さん、お母さんたちは何一つ持ってゆかない。みんなお前たちにゆずってゆくためにいのちあるもの、よいもの、美しいものを、一生懸命に造っています。」

その時々の問題点を洗い出し、解決すると同時に自分たちの相互コミュニティを促し、地域文化創造の一役をも担った活動でもあったように思う「ゆずりは運動」。地域の一員としてこれからもその精神は続いてほしいと思うと同時に、これからも誰もが経済的な理由を問わず公平に教育を受けられる教育の体系を、いつまでも大切にゆずり受けてほしいと思います。

第2回は、高田雅雄 様(7月掲載)です。